

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 幌加内町

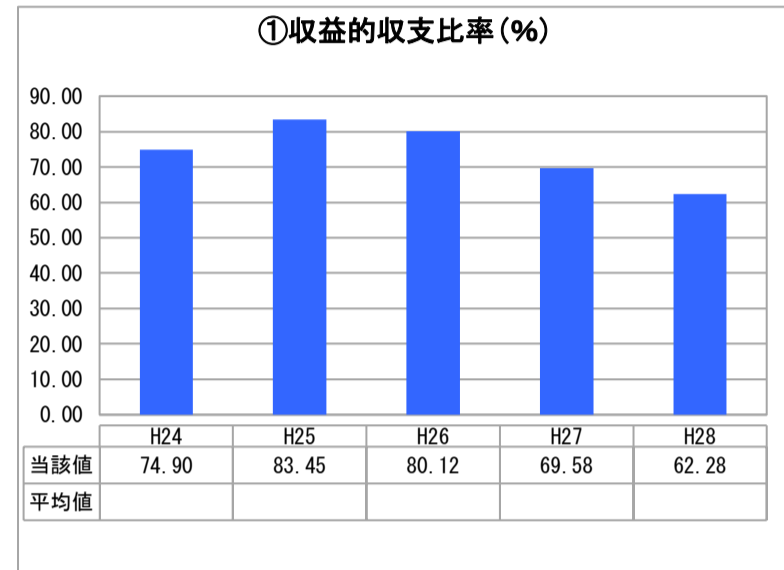
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	38.10	100.00	3,900

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,576	767.04	2.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
589	0.64	920.31

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



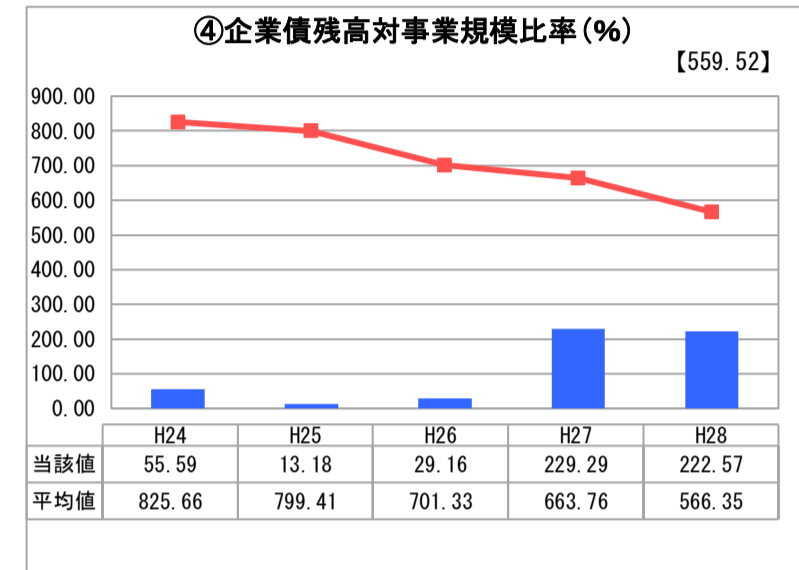
「単年度の収支」



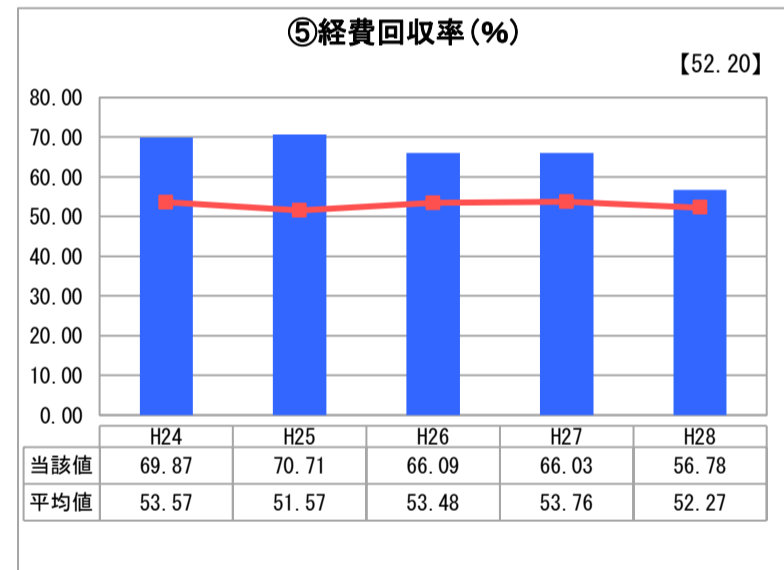
「累積欠損」



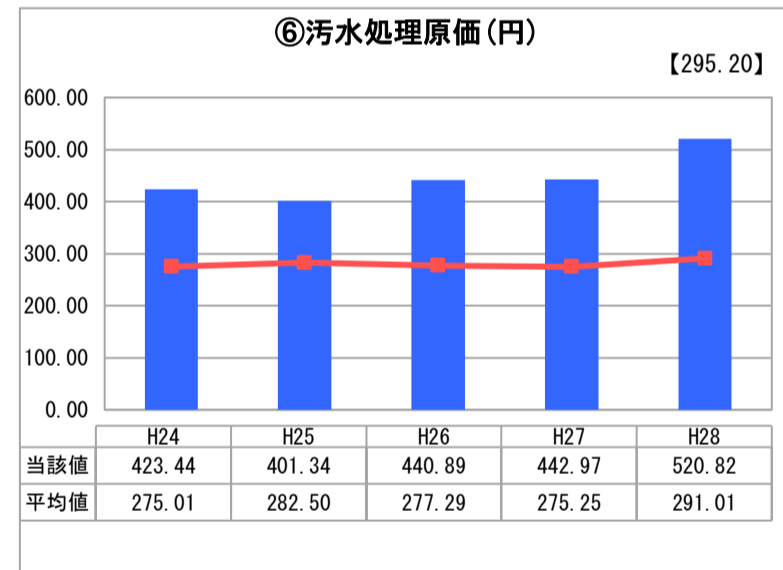
「支払能力」



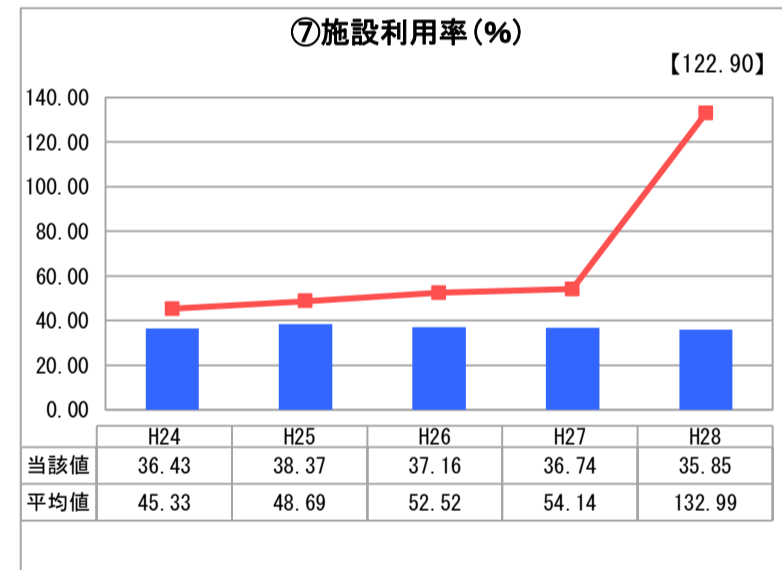
「債務残高」



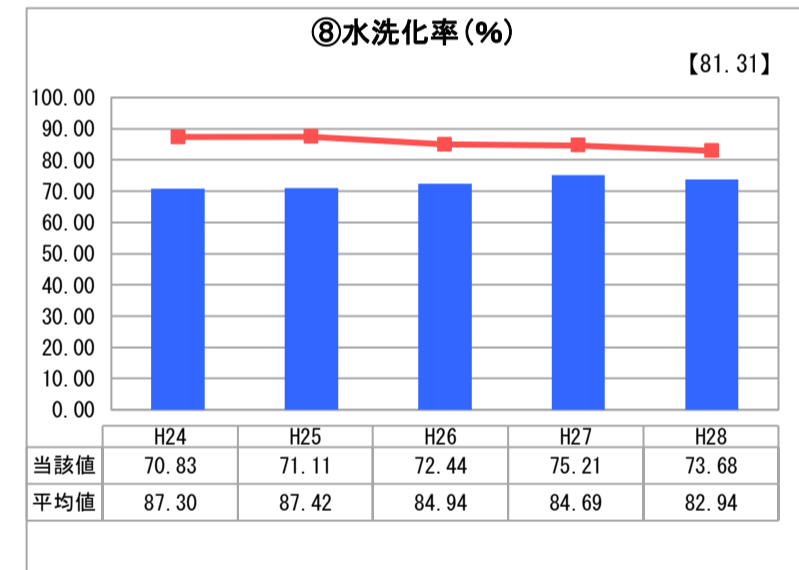
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

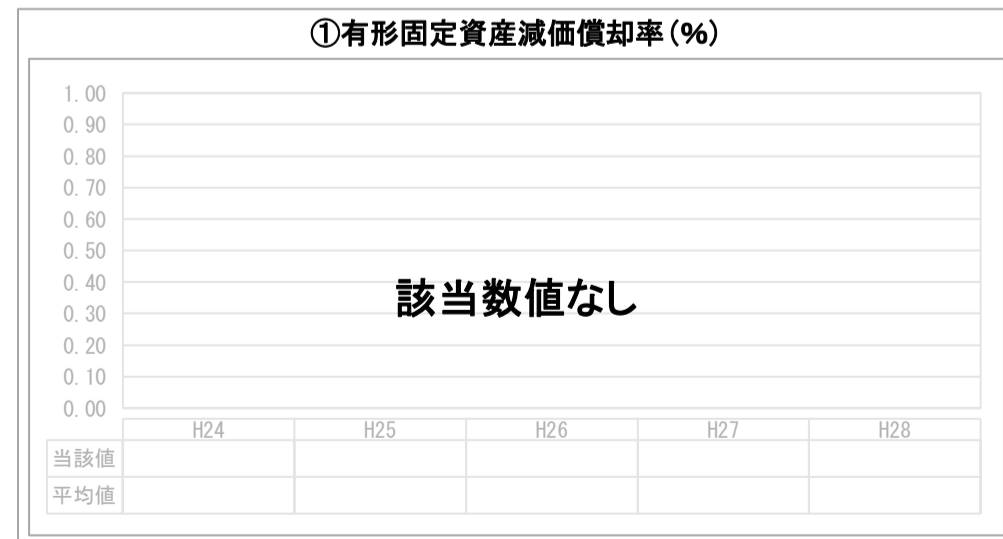


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

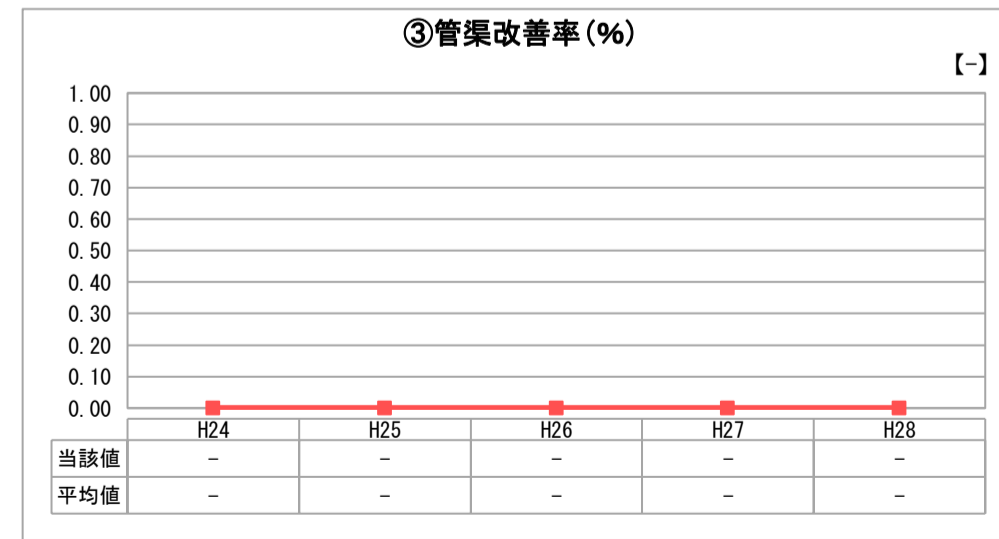
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体と比較すると経費回収率は高い水準であるが汚水処理原価が高い為、収益的収支比率が伸びない状況となっている。水洗化率は類似団体と比較すると低い値だが、集合処理である農集と違い個々に設置する浄化槽の汚水処理原価は高くなっており、健全性・効率性が難しい状況である。

2. 老朽化の状況について

平成7年度より事業を実施しており、法定耐用年数以上の浄化槽は無いが、適切な維持管理（保守点検）を実施し長寿命化を図っていく。

全体総括

当町は平成18～20年度の3カ年で料金改定を行い総収益の増収を行ってきたが、依然として一般会計からの繰入により運営している状況である。汚水処理原価が高いので費用の効率性を検討していきたいと思う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。